



市民の声を市政に反映

杉森ひろゆき

市議会議員 ニュース

杉森弘之後援会広報委員会発行
678号 2017年9月26日
 〒300-1235 牛久市刈谷町1-41-8
 TEL・Fax : 870-0335
 携帯 : 090-5587-7693
 Mail : sugimori@max.hi-ho.ne.jp

介護保険法改正の悪影響

介護労働者の処遇改善を ①-Ⓣ

第3回定例会一般質問 Ⅲ

杉森議員は9月7日、第3回定例会で、①介護保険法改正、②公共交通、③福島第一原発事故と東海第2原発、について一般質問した。今号では①のⓉを掲載する。

続発する介護事件

【杉森議員の質問】最近も岐阜県高山市の介護老人保健施設「それいゆ」で、7月末からの半月間で入所者の高齢者3人が相次いで死亡したほか、別の2人が怪我をして入院している異常事態が起きました。岐阜県が立ち入り調査を行なうと共に岐阜県警は入所者が暴行を受けた事件の可能性を視野に捜査を開始しています。

また記憶に新しいのは、川崎市の有料老人ホーム「Sアミーコ」で、2014年11月から12月にかけて発生した3人の殺人転落死事件です。この事件はその後、施設利用者の金品を盗むという事件も発生していたこと、この施設ではこの事件だけでなく、虐待事件を起こした4名の男性職員を解雇していること、虐待した職員が過酷な労働環境に“耐えかねて”認知症高齢者を虐待したと話していることな
 (次頁に続く)



小坂城址土地購入

百条委員会を設置

牛久市議会が請願を採択

牛久市議会は9月1日から21日までの会期で第3回定例会を開催し、懸案であった「小坂城址土地購入事務処理問題」に関して、調査特別委員会（いわゆる百条委員会）の設置を求める請願を14:7で採択、同様に設置決議を可決しました。

池辺前市長の任期中に、K社がS社に小坂城址約2万㎡を500万円で譲渡するため、公有地拡大推進法に基づき届出書を提出。市は同法で優先的に購入できたにもかかわらず購入しないと県に通告し、K社とS社の売買を可能にし、その3日後に市長は小坂城址の購入を指示。S社が池辺氏の親族7人と売買契約を結んだのはS社が取得した3日後であり、さらに池辺氏の親族から市へ転売されたときには約6,340万円もの税金が使われました。

会議は原則公開

牛久市議会はこの問題を調査するため、2014年に百条委員会を設置しましたが、委員の過半の12名の欠席により、報告書もまとめることができませんでした。

今回は22名の全議員によって構成され、9月21日に開催された第1回委員会では、委員長と副委員長を選出し、会議の原則公開等を確認しました。

介護労働者の劣悪な労働環境

どが明らかになりました。職員は、ライン表と呼ばれる「業務表」で15分単位に区切られ、“〇〇様トイレ誘導”“□□様排泄介助”“△△様口腔ケア”と、びっしりとスケジュールされ、時間に追われる毎日でした。介護職個人の裁量で高齢者と接する時間は一切ない。人によっては休憩もとれない。その日常が精神的に負担になっていきました、と元職員は証言しています。市町村そして介護施設に介護度改善・給付削減を競争させ、強制していく今回の介護保険法の改正は、介護労働者の労働環境の一層の悪化をもたらす危険性を秘めています。

そこで、最近の介護労働者の労働環境の改善・変化について、説明を求めます。

【保健福祉部長の答弁】 介護従事者の処遇改善については、国において2009年度より介護報酬改定に3%上乗せをした介護従事者の処遇改善に重点をおいた改定が実施され、その後2012年、2015年、2017年の介護報酬改定において介護処遇改善加算として、これまで月額5万3千円相当の拡充が実施されてきました。賃金の改善については改善しつつありますが、市内の介護サービス事業者からは依然として、**安定した介護人材の確保が難しい**という声が聞かれます。今後は国の更なる介護従事者の処遇改善施策を注視しつつ、市としても適切な支援を検討していきます。

特養待機者130人

【杉森議員の質問】 この問題の最後に、牛久市での特養の待機者は、現在どのくらいの人数になっているのか、そして今後の対応策はどのように考えているのか、質問します。

【保健福祉部長の答弁】 特別養護老人ホームの入居を希望している牛久市民が**2017年4月時点の調査で130人**、昨年の4月時点と比較すると30人減少しています。特養の整備計画については第7期介護保険事業計画において、向う3年間で必要な介護施設の種類やその量、また日常生活圏域における配置等を給付費の推計と介護保険料とのバランスを勘案しながら施設整備目標数を定めていきます。



さようなら原発 さようなら戦争

さようなら安倍

9月18日、東京・代々木公園で「ともに生きる未来を！さようなら原発さようなら戦争全国集会」が開かれ、**9500人**が結集し、杉森議員も牛久の仲間と参加しました。

集会では、安倍晋三首相が9月末に開かれる臨時国会の冒頭に衆議院を解散する可能性が高まる中、「**疑惑隠しの大義なき解散だ**」と非難が集中し、さらに、「原発再稼働や戦争をする国を進める安倍政権にさようならをするチャンスだ」との声も広がりました。

俳優の木内みどりさんが司会を務め、最初に呼びかけ人の落合恵子さん（作家）は、「解散・総選挙を企む安倍首相に**私たちは見くびられている**。アメリカの顔ばかり伺う政治を終わらせよう」と呼びかけました。

福島からは福島原発刑事訴訟支援団団長の佐藤知良さん、自主避難者として福島から大阪に避難している森松明希子さん（原発賠償関西訴訟原告団代表）、再稼働が迫る佐賀県の玄海原発について原水爆禁止佐賀県協



議会の徳光清孝会長、沖縄平和運動センターの山城博治議長など、現地からの訴えが続きました。